

パスワード変更サービスの更新

学術情報部情報政策課 山田 純一

本学の情報システムは、平成 31 年 3 月 1 日から新しいシステムに更新された。ここでは、パスワード変更サービスについて紹介する。

キーワード：情報システム

1. はじめに

新情報システムは、従来と同じように本学の情報基盤として、学術研究、教育、事務の諸活動を支援し、さらなる発展に大きく寄与することを目的としている。パスワード変更サービスもそれに合わせ、従来のサービスから更新された。過去の情報システムでもパスワード変更サービスの紹介を行ったことがある。2 つ前の情報システムになるが、「富山大学総合情報基盤センター広報 vol.3 (2006)」で紹介しており、その頃よりもサービスは改善されている。

2. パスワード変更サービス

今回の情報システムでのパスワード変更画面は、図 1 のように新たに学内パスワードと学外パスワードの項目を設けた。



パスワード変更

現在の学内パスワード

新しいパスワード

新しいパスワード (確認)

弱い 強い

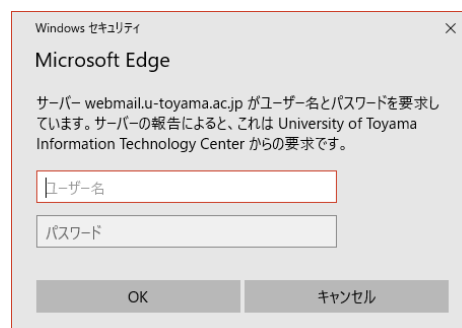
- ☒ 学内サービスと学外サービスのパスワード両方を変更する。
- ☐ 学内サービスのパスワードのみ変更する。(2/18以降有効となります)
- ☐ 学外サービスのパスワードのみ変更する。(2/18以降有効となります)

パスワード変更 メニューに戻る

図 1 パスワード変更画面

学内パスワードは、学内サービス（メール、学務情報システム、当センター管理無線 LAN、端末室端末等）のパスワードが該当する。一方、学外パスワードは、学外サービス（VPN 等）のパスワードが該当する。学内と学外のサービスで別なパスワードを設定することが可能になった。別々なパスワードを設定することで、もし学外で VPN のパスワードが漏洩してしまった場合でも違うパスワードならば、学内サービスへの不正アクセスを防ぐことが出来る。

また、Web メールも学外サービスになるのではといった意見もあるが、本学の Web メールでは、図 2 のように二段階認証を用いて、不正アクセスの被害を防いでいる。この二段階認証を用いてから、過去に何度か発生した Web メールフィッシングサイトによる被害は発生していない。フィッシングの説明は、ここでは省略するが、「富山大学総合情報基盤センター広報, vol.11 (2014)」で解説している。



Windows セキュリティ

Microsoft Edge

サーバー webmail.u-toyama.ac.jp がユーザー名とパスワードを要求しています。サーバーの報告によると、これは University of Toyama Information Technology Center からの要求です。

ユーザー名

パスワード

OK キャンセル

図 2 二段階認証

パスワード要件は、従来とほぼ同じで、1 文字以上の半角英大文字と 1 文字以上の半角英小文字、1 文字以上の半角英字以外（数字等）を含むことにしている。使用可能な記号文字も前の情報シス

テムと同じく、プラス(+), マイナス(-), アスタリスク(*), スラッシュ(/), イコール(=), ドット(.), アンダーバー(_)となっている。

パスワードの文字数は増やす予定だったが、他システムの文字数制限の関係で、前と同じく 8 文字以上 16 文字以下となった。

パスワード要件

現在の学内パスワードでは、学内パスワードを指定してください。
学内パスワード：下記以外（例：無線、メール、Moodle、端末至ログイン）
学外パスワード：VPN

以下の要件を満たすパスワードにしてください。

文字数 8文字以上、16文字以下
ただし、その中には「大文字アルファベット (A～Z)」、「小文字アルファベット (a～z)」、「数字文字 (0～9)」をそれぞれ1文字以上含むこと。
使用可能な記号文字は、以下の7つです。
プラス (+)、マイナス (-)、アスタリスク (*)、スラッシュ (/)、イコール (=)、ドット (.)、アンダーバー (_)

図 3 パスワード要件

学外サービスとして、現在（2019 年 3 月現在）運用しているのは、VPN のみになるが、今後は例えば eduroam 等、学外サービスの拡張も予定している。

6. 転送設定

転送設定については、図 4 のように、従来と同じ設定方法で設定することが可能である。

メール転送設定

転送元のメールアドレス：@ems.u-toyama.ac.jp

設定後に自分宛てにメールを送信して転送先に正しく送信されることを確認してください

メール転送先 01		<input type="checkbox"/> 削除
メール転送先 02		<input type="checkbox"/> 削除
メール転送先 03		<input type="checkbox"/> 削除
メール転送先 04		<input type="checkbox"/> 削除
メール転送先 05		<input type="checkbox"/> 削除
メール転送先 06		<input type="checkbox"/> 削除
メール転送先 07		<input type="checkbox"/> 削除
メール転送先 08		<input type="checkbox"/> 削除
メール転送先 09		<input type="checkbox"/> 削除
メール転送先 10		<input type="checkbox"/> 削除

☒ 転送元にメールを残す

図 4 転送設定の画面

最近は転送先の入力ミスが非常に多いので、設定後にメールを送信して転送されるか確認すること、また転送のリスクを十分に理解した上で転送を行うことが重要であり、引き続き学内への周知を行っていきたい。